

平成23年10月13日
北薩森林管理署

紫尾山のブナ林を守れ

ーシカ被害防止ネットの設置ー

紫尾山は鹿児島県出水市とさつま町界に位置する標高1,067mの北薩地域最高峰の山で、山頂からは県内一円はもとより遠くは天草の島々まで一望できる大パノラマを楽しむことができます。また、古来より山岳信仰の地として多くの修験者が修行に励んだところで、林内には「上宮神社」もあり多くの登山者などが訪れるなど、地域のシンボルとなっています。

山頂周辺の森林は針広混交林の天然林で、薩摩半島の南限とされるブナを上層木に、アカガシ、ウラジロガシ、シイ類、モミ等の大径木、下層木にツバキ、カエデ等が自生し、冷温帯のブナが暖帯林のカシ、シイなどと共存する貴重な生態系を有しています。



ブナの巨木



ブナの芽生え

この紫尾山の植生を代表するブナ林に、近年何らかの要因により枯損し倒木する箇所が散見されるようになってきており、さつま町や地域の方々からその保全・保護の要望があります。

そうしたことを受け、北薩森林管理署やさつま町役場、地域ボランティア等が協力して「紫尾山のブナ林保全・保護対策」の一環としてシカ被害防止ネットの設置を下記により実施することとしましたのでお知らせ致します。

記

1 日 時 平成23年11月8日(火)
※ 小雨程度の場合は実施します。

2 場 所 紫尾山山頂 さつま町：大洞 国有林22林班

3 日 程
10:00 現地集合（紫尾山山頂駐車場）
10:00～11:30 現地説明、シカ被害防止ネットの設置
11:30 現地解散

4 参加予定者 ① 北薩森林管理署
② さつま町役場
③ 地域ボランティア

【お問い合わせ先】

北薩森林管理署

さつま町轟町35番3

電話：0996-48-4900

担当：次長 山本 一 則
流域管理調整官 坂之上 勘 太